



ふれあい市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

宮崎県の地震に寄せて

8月8日に宮崎県日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生しました。被害に合われた方へ心よりお見舞いを申しあげます。

今回の地震では、気象庁から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。これは、平常時と比べて巨大地震発生の可能性が高まっていることから、日頃からの備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難できる準備を呼び掛けるものです。

15日の臨時情報の呼びかけ終了まで、南あわじ市では危機管理課職員が24時間体制で待機し、地震発生時、直ちに避難所の開設ができるように備えました。

今回、南海トラフ地震臨時情報は初めての発表であり、また、ちょうどお盆の帰省や家族旅行の時期に重なり、どのように行動をしたら良いのか戸惑わ

れた方も多かったのではないのでしょうか。最近ではSNS等でさまざまな情報が入ってきます。しかし、それを鵜呑みにせず、行政から発表される情報に注意して、冷静に行動することが重要です。

注意の呼びかけは終了しましたが、この機会に南あわじ市のハザードマップを開いて、災害発生時の備えについて再確認をしましょう。

また、災害発生時には、隣近所、地域の助け合いで被害を抑えることができます。日頃からそのような意識を持って、自然災害に強い南あわじ市をともにつくっていきましょう。

8月15日の終戦記念日に、若人の広場公園で戦没学徒追悼献花式と萬灯会を開催しました。第二次世界大戦が終わって80年近く経ちましたが、世界では、戦争がやむことなく続いています。このような時期に、改めて、戦没された方々、遺族の方々に思いをはせ、平和への誓いを新たにしたいと感じます。今年の萬灯会では、淡路三原高校の美術部が「追悼」の灯籠文字をデザインし、ミニコンサートでは、南あわじ出身の音大生がピアノと歌を披露しました。パリオリンピックでメダルを獲得した卓球の早田ひなさんの「生きていること、卓球ができていないのは当たり前ではないと感じたい」との趣旨のコメントが話題になっていますが、今回の萬灯会も、若い人たちが平和の大切さを振り返る機会になればと思います。

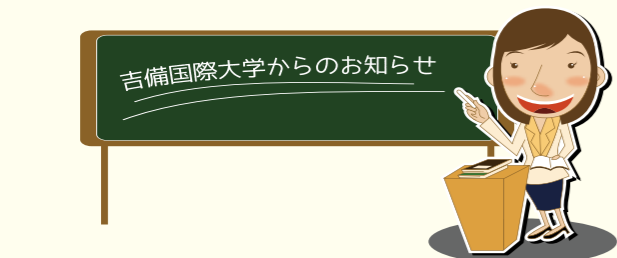
大いに盛り上がりました。スイカ割りの後は、皆で美味しいスイカを楽しみました。

この交流会は、互いの文化の架け橋となり、学生同士の国境を越えた友好を深める貴重な機会となりました。今後も広く学生の成長に繋がるような機会をつくっていったらと考えております。引き続き、市民の皆様にも温かく見守っていただけますと幸いです。



昼食会での交流

スイカ割りを楽しみました



訪日研修団と国際交流

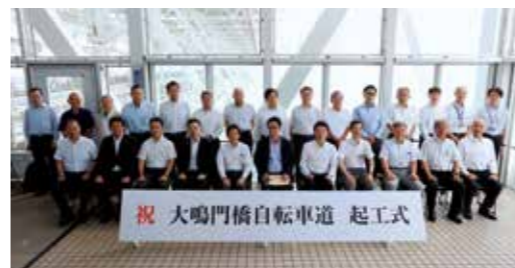
7月3日、南あわじ志知キャンパスにて、アメリカ・ブラジルからの訪日研修団の方々を迎え、本学農学部学生たちとの国際交流会が行われました。

食堂では、日本料理を召し上がっていただく昼食会を開催しました。最初は緊張していた参加学生たちも、お互いの自己紹介や料理の説明をするなど、同じテーブルを囲んでの会話で和やかな雰囲気に包まれ、笑顔で交流することができました。

昼食後は、全員で日本文化体験としてスイカ割りを行いました。英語での指示が飛び交い、参加学生全員が

受賞おめでとうございます

- ◆健康づくり等にかかる知事表彰
優良いずみ会リーダー 平石 かづ子
◆兵庫県いずみ会会長表彰
優良いずみ会 丸山いずみ会
優良いずみ会リーダー 入谷 百合子



大鳴門橋自転車道起工式の参加者ら

7月22日、大鳴門橋にある鳴門市の観光施設「渦の道」で、大鳴門橋自転車道の起工式が行われました。自転車道は、橋の桁下空間を活用。延長は約1.8キロで幅約2.5メートルの自転車道と幅1.5メートルの歩道を整備する計画です。完成後は広域的なサイクルルートが形成できることから、サイクリスト年間約9万人の利用を見込んでおり、淡路島サイクルツーリズムの発展につながる」と期待されています。

起工式には、齋藤元彦兵庫県知事、後藤田正純徳島県知事、守本市長、泉理彦鳴門市長をはじめ、関係者約30人が出席。守本市長は「自転車道が兵庫・徳島両県の一層の発展と連携の強化につながる」と期待を込めました。また、齋藤知事は「自転車道は災害時に避難路にもなり、防災と観光で大きな役割を持つ」と建設の必要性を説明しました。当自転車道は令和9年度の完成を目指しています。

兵庫・徳島の連携強化へ 大鳴門橋自転車道起工式



意見交換をする参画企業の担当者ら

南あわじ市子育て応援コンソーシアム フォロアアップ研修を開催

市では「子育ての喜びが見えるまち」の実現を目指し、子育て支援、男女共同参画、ワークライフバランスの推進を目的とした「子育て応援コンソーシアム」を設立しています。企業や団体と連携し、従業員が働きやすい職場環境づくりに取り組む、子育て応援挑戦企業であることをこの仕組みを通じて推進していきます。

7月31日、参画企業の担当者などが参加し、フォロアアップ研修が開催されました。この研修では、各職場での実践事例に対応する課題について意見交換が行われ、「業務効率向上のためのマニュアル作成」や「男性の育児休業の取得率向上」など、参加者から出たさまざまな意見が共有されました。



地域の課題について解決策を提案する子ども議員

子ども議会開催 小学生が市議会議員に質問や提案

市内の各小学校の代表児童が議員となり、まちづくりに関する提案を行う「南あわじ市子ども議会」が8月6日に開催されました。この取り組みは、次世代を担う子どもたちに政治や行政に関心を持ってもらうことを目的としています。議会は2部構成で開催され、第1部は議長を務めた藤本

音羽さん（神代小）、第2部は副議長を務めた興津日花さん（松帆小）が進行しました。子ども議員からは公園の整備や通学路の交通安全など、各小学校で話し合った内容について提案があり、市議会議員が丁寧に答弁しました。詳しくは、10月31日発行の「議会だより」に掲載されます。